

報告事項 ク

令和元年度鳥取県教育研究大会の開催概要について

令和元年度鳥取県教育研究大会の開催概要について、別紙のとおり報告します。

令和元年12月20日

鳥取県教育委員会教育長 山本 仁志

令和元年度鳥取県教育研究大会の開催概要について

高等学校課
令和元年12月20日

1 趣旨

県教育委員会では、学ぶ力や豊かな人間性と社会性の育成を図るため、各園（所）・学校の取組への支援を進めている。

本研究大会では、鳥取県の「教育振興基本計画」に掲げる目標と、特に力を入れたい施策と具体的な重点取組を踏まえ、講演、各校種における実践事例の発表等をとおして、県内の幼児・児童・生徒の自ら学ぶ意欲を高めるような学びの質の向上、ふるさと鳥取への愛着と誇りの醸成、安全・安心に学べる教育環境づくり及び個々の障がいの状態や程度、発達段階に応じた教育の一層の推進を図る。

2 開催日時・会場

- (1) 日時 令和元年11月11日（月） 午後1時から午後4時30分まで
- (2) 会場 鳥取県立倉吉未来中心 小ホール他

3 参加者

218名（幼稚園・保育所・認定こども園・小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員、保護者、市町村教育委員会等の行政関係者等）

4 内容

(1) 全体会報告「鳥取県の取組について」

- ①教育振興基本計画の全体像とふるさとキャリア教育について ②働き方改革について

(2) 講演

【テーマ】「組織力を活用した“効果ある学校づくり”の推進～心豊かに生き未来を創造する学校教育のあり方～」

【講師】鳴門教育大学大学院 教授 久我 直人 氏

【概要】

優れた教師が持つ3つの視座（「しっかりしつける・・・確かな導き」「たっぷりほめる・・・勇気づける」「じっくり考えさせる・・・自学・自治」）や子ども理解、伝え合う力、信頼と教育効果、心をつなぐ教育等をキーワードとした学級づくり及び効率的で効果的な学校組織マネジメントについて講演。

【参加者の声】

- ・自分自身のそれが言いたかったと思う所にズバッと明快なキーワードを投じてくださり、納得のいく内容だった。可視化することにより、効果的な指導の方向性を共有して、組織として向かえると思った。
- ・肯定的な声かけの良さはこれまで感じてきたが、どんな効果があるのか、なぜ有効なのかを図や言葉で理解されていてとてもわかりやすかった。学校経営に困難さや不安を感じている先生方にもぜひ聞いてほしい内容だった。
- ・いじめ、不登校など、学校で対応しなければならないことは沢山あるが対処的にならず、一点突破で組織として対応していくことの必要性を改めて感じた。
- ・優れた教師の3つの視座は大変納得できたし、今、学校そして地域にも大切な視点であると感じた。学校全体でできていること、足りていないことを検討して取り入れていきたい。



(3) 分科会

第1分科会

【テーマ】「全国学力・学習状況調査を活用した授業改善の取組（B-P-L-A-N）について」

【発表者】鳥取県教育委員会事務局小中学校課、中部教育局

【概要】

学力課題の解決にむけて、県教育委員会と市町村教育委員会が協働して各地域で取組を進めている実践を説明し、その中から、今年度、中部地域で取組を進めている全国学力・学習状況調査を活用した授業改善の取組（B-P-L-A-N）を発表

【参加者の声】

- ・ B-P-L-A-Nの活用については興味があったので具体的な取組について聞けて良かった。単なる練習問題としてではなく、授業改善として活用するという点が素晴らしかった。
- ・ B-P-L-A-Nの取組は授業力向上を狙っているものであり、全く同感。授業改善こそ学級、学校経営の最も重要なポイントと感じている。



第2分科会

【テーマ】「鳥取中央育英高等学校の特色ある学び～「地域探究の時間」地域を探究し、地域から学ぶ～」

【発表者】鳥取中央育英高校

【概要】

中教審答申においても、「高校教育で、主体性をもって多様な人々と協力して問題を発見し、解を見いだしていく探究活動が必要」と言われているところであり、北栄町と鳥取中央高等学校とが協約締結の上、地域と一体的に取り組んだ「地域探究の時間」の実践を発表。

【参加者の声】

- ・ 3年間通じてのプログラムを地域探究の進め方の参考としたい。
- ・ 行政、民間、地域との様々な連携を通して、TMTルーブリックを深めていくプロセスがわかりやすく語られ、大いに参考になった。地域学校の一つの取組として大変貴重である。



第3分科会

【テーマ】「人間力・組織力による不登校改善の取組～ハピスマのあふれる学校を目指して～」

【発表者】鳥取市立世紀小学校

【概要】

不登校の改善に向けて、スピード感ある組織体制づくりを目指して役割分担や会議のあり方を見直すとともに、児童の人間力の育成に向けた取組をあわせて進めた実践を発表。

【参加者の声】

- ・ スピード感のある組織体制がやはり大切であると再確認できた。現場に働き方改革が求められる中、会議のあり方を工夫、参加した者が会議をやってよかったと実感できるような組織体制や内容の工夫に取り組んでいきたい。
- ・ 世紀小学校の取組を伺い、着実に子どもの自尊感情を高め、やる気を持たせている取組がよく分かった。



第4分科会

【テーマ】米子白鳳高校における特別支援教育と通級指導教室の取組

【発表者】米子白鳳高等学校

【概要】

高等学校における通級による指導の実践を紹介するとともに、校内の支援体制を充実させ、中学校と連携を図っている米子白鳳高等学校の取組を発表。

【参加者の声】

- ・ 発達障がいのある児童、生徒が増加する中、高等学校のみならず小中学校での充実が大切だと感じた。
- ・ 高等学校の現状を他の学校種の方にも知ってもらえてよかった。また、米子白鳳高等学校が苦勞されている部分もよくわかった。今後も高等学校の通級の様子について、情報提供があるとうれしい。

